



厳しい寒さがつづいていますが、窓を開けて教室の空気を小まめに入れ替えたりしなければならぬといった「新しい生活様式」を理解して、子どもたちはよく頑張っています。新年を迎え、負けず、挫けず、諦めずに前進の決意ではありますが、感染拡大が続く中、変異も伝えられ、未解明の「コロナ」次第で何がどう転ずるか分からない状況が続いています。

卒業式を控えた三学期の登校予定日数は48日。感染予防対策に万全を尽くし、保護者の皆様のご協力を賜りながら、最大限の教育活動を推進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



目の前の課題に立ち向かう勇気と技能 助走をつけて一気に跳ぶ

年間学習指導計画で多くの学年が11月～12月に予定していた器械運動(マット運動や跳び箱運動等)は、概ね予定通り展開されました。今学期に実施する学年もあります。跳び箱では、いろいろな高さを自分の意志で選択できるように、複数のコースが設定されています。意を決して走り出し、助走を加速させ、自分の肩ほどの高さがある跳び箱を一気に跳び越していく姿。仲間の跳躍を見守り、応援する姿。たとえ困難な状況にあっても、子どもたちはこのように課題に立ち向かい、乗り越えていく力をつけているのだと思います。(学級や学年を越えて共用する器具への接触が伴いますので、授業後の手洗いや消毒も入念に行っています。)

卒業文集も DTP

～コンピュータは令和の時代のスタンダード～



コロナ禍が一人一台端末時代の到来を加速させました。コロナ禍以前から学校に整備されていた PC 端末は、昨年、より小型のタブレット型に更新され、鉛筆やノートと同様に教科学習での活用がありました。ICT 環境が変化する中、6 年生は、培ったその技能を活用して卒業文集の原稿作成の作業をコンピュータで行っていました。部分的に手書きの文字も残し、味わい深い文集となるよう DTP(デスク・トップ・パブリッシング)で準備を進めています。

※ 年末年始休業中には一人一台端末活用に向けて、校内のネットワーク・インフラを更新するために GIGA スクール化の準備工事が進められました。

花を生けることで学ぶ 美の探求 命の尊さ



クラブ活動もコロナ禍ゆえに 10 月からという、大変に変則的なスタートとなりました。コロナ感染症の対策で、年度当初に予定していたものの、発足を見合わせたクラブの再編作業など、困難を極めました。計 11 のクラブの内、4 つのクラブでは地域の達人、スクールサポーターを中心講師に迎えて運営をしています。しかし、既にお知らせの通り、大変残念ではありましたが、県内広域での感染拡大の状況を鑑みて、外部からの講師を招き、高学年全員が参加し、異なる学年で構成され活動する「特別活動」、クラブ活動については、11 月 19 日より見合わせることにしました。有意義な学びの場を保障しきれない悔しさもありますが、今年度、この状況にあって、再開は見込めませんので、以後の中止についてご理解いただきたいと思ひます。

※ 学校のお正月の飾りを、フラワーアレンジメント・クラブ講師の山本様にいただきました。いつも学校玄関ホールに生け花を活けていただいています。ありがとうございます。

大変お待たせしました。10 月 12 日に開催した「全校合奏体験」の CD が完成しました。今年度は、屋外での演奏に加え、分散隊形での演奏ということもあり、8 本ものマイクを用いて、四方八方に広がる音を捉えていただき、専門家にミキシングをしていただきました。

更に CD ジャケット(表裏共)については、地元のイラストレーター Almond (アーモンド) さんに特別に描き下ろしていただき、パッケージも含め、見ごたえ聴きごたえのある作品となりました。注文数限定の販売となりますので、注文封筒にてご確認の上、よろしければ、全校で取り組んだ作品をお手元に置いていただけますようお願いいたします。